

地方自治情報化推進フェア(J-LISフェア)2025

富士通Japanブース出展のご案内

日時： **10月8日(水)** 9:30 – 17:30

10月9日(木) 9:30 – 17:00

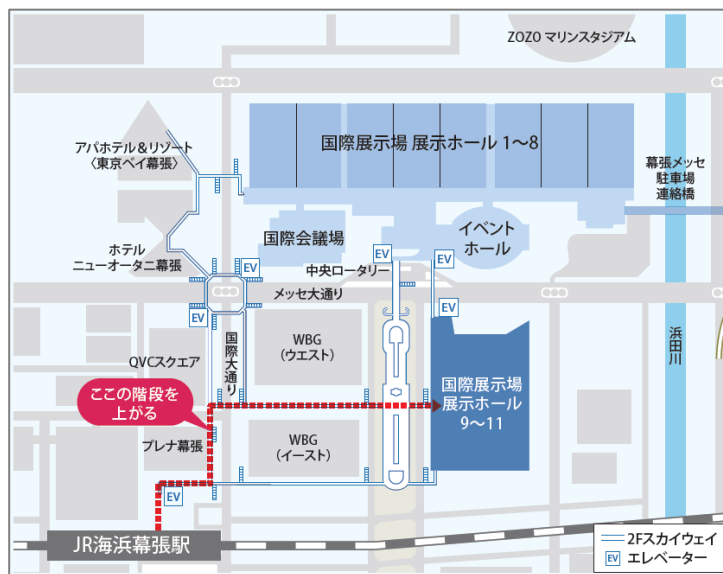
会場：幕張メッセ 展示ホール9～11

(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)

● 推進フェア公式Webサイト
<https://fair.j-lis.go.jp/>



● 参加無料(※上記サイト／QRより事前来場者登録)



バンダープレゼンテーション

行政関係者のみ

<1日目> **10月8日(水) 13:30 – 14:15 B会場** ※富士通Japanブース向かって左奥

自治体におけるDXを成功させるためのポイント ～高知県黒潮町の取り組みから～

全国の自治体では様々なDXに関する取り組みが行われていますが、進め方に苦労しているところも少なくありません。
 高知県黒潮町CIO補佐官として1からDXに取り組んだ経験と、全国のコンサルティング実績からDXを成功させるためのポイントと陥りやすい失敗について具体例を交えながらご紹介いたします。

例えば・・・

- 庁内でDXの機運が高まらない
- デジタル化でかえって手間が増えた
- システムが使われない
- 住民向けアプリが普及しない

といったことで悩まれていませんか？

本講演が皆様のDX推進の一助になれば幸いです。



富士通Japan株式会社
 Public & Education事業本部
 Consulting Office
 由比 良雄 (ゆひ よしお)

おかげさまで **<満席> にて受付を締め切っています**
 ※当日の席の状況により、参加頂ける場合もございますので、
 <開始5分前までに、B会場受付>にお越しください。

■ 「富士通Japan J-LISフェア特設サイト」からもお申し込みいただけます。

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/public-sector/local-government/events/jlisfair2025.html>

ミニプレゼンテーション

ミニプレゼンでは、ブースの展示内容や、Uvance関連ソリューションの活用事例から、ServiceNowやSalesforceを活用した新しい業務変革、さらには人材育成、内部事務のデジタル完結といった、多岐にわたるテーマで自治体様の課題解決やDX推進に役立つヒントをお届けします。

プレゼンテーションスケジュールは、[富士通Japan J-LISフェア特設サイト](https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/public-sector/local-government/events/jlisfair2025.html)にてお知らせいたします。

出展内容

テーマ

「2040年の自治体の未来をともに考える富士通Japan」

2040年の自治体は、少子高齢化や人口減少など人につわる社会課題が深刻化する一方、より高度化したデジタルの力で働き方の多様化や人材不足を補う取組みの一層の加速化が予測されます。

限られた職員数で、より複雑化した住民ニーズに応えていくため、さまざまな場面でのデジタル化の領域拡大に向け『富士通Japanがいまできること』をコンセプトに、富士通Japanが考えるAI活用やデジタル完結を目指した業務効率化、住民/事業者接点、データ利活用、自治体インフラなど自治体に寄り添い、伴走しながら未来をともに考えるパートナーとしての取組みをご紹介します。

行政経営の基盤を強化する

■ 民間事業者との発注/契約/請求業務デジタル化

「IPKNOWLEDGE財務情報システム」では、株式会社インフォマートの「BtoBプラットフォーム」と連携することで、民間事業者との契約、発注および請求といった、自治体における業務プロセスの電子化を支援します。

■ 行政経営に貢献するデータ可視化サービス

「IPKNOWLEDGEデータ可視化サービス」は、自治体の行政経営を支援するサービスです。システムに蓄積されているデータを多角的に分析・表示することで、客観的な事実に基づいた戦略的な意思決定を可能にし、行政経営の課題解決を支援します。

■ 進化し続ける内部情報ソリューション

使いこころ・快適さを追求し、進化し続ける「内部情報ソリューション」です。システムに蓄積されていくナレッジやノウハウの活用を促進し、クラウド利用による高品質・高機能を実現することで、職員様の業務効率化を支援します。

新たな働き方と学びの機会を提供する

■ 検索を探索に！図書館向け最新AIサービス

公共図書館・大学図書館向けのサービス「AI探索サービス」は、従来の資料検索ではアプローチ出来なかった領域を開拓する、新しい資料探索システムです。思いもよらない本との出会いにより、近未来の図書館を体験いただけます。

■ 働き方改革に向けた富士通の取り組み

コロナ禍以降、場所にとらわれない働き方のシフトとして、富士通における「働き方改革」の取組みをご紹介します。あわせて、2030年目途と想定される「三層分離」見直しの展望と富士通の考えるセキュリティソリューションを紹介します。

人と地域の未来を共創する

■ 地域を変える、DXと人のチカラ

富士通の地域DX人材は、全国15地域で活動しています。行政サービスの効率化や職員様の意識改革、観光の魅力発信や福祉サービスのデジタル化など、多様な分野における地域DX推進の取組みや成果事例を紹介します。

AIで業務の質と効率を高める

■ 生活習慣病リスク分析AIサービス

生活保護等版レセプト管理サービス「RezeptPlus」のオプション機能として、生活習慣病リスク分析AIサービスを、2026年度提供に向け企画中です。AIによるデータ分析を活用し、健康管理支援事業のさらなる深掘りや職員様の作業負担低減に貢献します。

■ AI活用で戸籍事務の職員負担軽減と業務効率化を実現

「MICJET電子書籍AI検索サービス 戸籍」は、AIにより膨大な書籍データから必要な記事を瞬時に検索できるSaaS製品で、戸籍システムとは独立して使用可能です。日本加除出版様やテイハン様が出版している、戸籍業務で使用する主要書籍などを掲載しています。

■ 滞納整理の財産照会先選定にAIを活用！

「滞納整理支援AI」は、滞納者の属性（収入や控除の種類等）や過去の財産調査履歴のデータから、職員様のノウハウを反映した優先度付けをして財産照会先候補を推薦します。照会先の選定にかかる時間を短縮し、職員様の作業負担を軽減します。

■ 自治体システム標準化対応

安全確実な標準システムへの移行と運用の最適化、さらに標準化後を見据えたAI活用の取組みをご紹介します。標準化を契機に、住民の快適性・職員様の効率性を追求し、人中心の行政サービス変革をサポートしていくことを目指します。

未来の暮らしをデザインする

■ 人とAIが協調する、次世代の市民サービス

人の指示の意図を汲み取り、最終的な目標やタスクを自律して考え実行するAIEージェント。幅広い問合せ応対や複雑なタスクの自動処理を行い、住民/事業者との接点を中心としたデジタル労働力を生み出すプラットフォームを実現します。

■ 交通シミュレーションによる交通施策事前検証

富士通独自技術の「行動選択モデル」により、人々の行動を高精度に再現し、デマンド交通やシェアリングなどのモビリティ施策について、時間・場所・イベントなどのパラメータを変化させ、デジタルリハールをすることで、施策による影響や効果を事前に検証します。

【お問い合わせ先】

富士通Japan株式会社 お客様総合センター 0120-835-554

受付時間：9時～12時、13時～17時30分(土日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通Japan
J-LISフェア特設サイト

